

交通ルールを守って  
つながる笑顔



# かながわの交通

2013

12

## 無事故で年末 笑顔で新年

### 年末の交通事故防止運動 12月11日(水)～20日(金)



大鷲神社西の市 (横浜市南区)



### 自転車はどこを走ったらいいの...? 教えて!

自治会・企業・高齢者の集まりなどで

**チリン・スクール** を一緒にやりませんか。



◎県内の交通事故発生概況(11月末)

| 年別    | 区分 | 発生件数   | 死者数  | 傷者数    |
|-------|----|--------|------|--------|
| 平成25年 |    | 30,731 | 149  | 36,658 |
| 平成24年 |    | 33,637 | 157  | 40,082 |
| 増減数   |    | -2,906 | -8   | -3,424 |
| 増減率   |    | -8.6   | -5.1 | -8.5   |

◎県人口・運転免許人口

|      | 総数        | 男         | 女         |
|------|-----------|-----------|-----------|
| 県人口  | 9,084,223 | 4,545,232 | 4,538,991 |
| 免許人口 | 5,567,936 | 3,228,200 | 2,339,736 |
| 割合   | 1.6人に1人   | 1.4人に1人   | 1.9人に1人   |

(県人口は平成25年11月1日、免許人口は平成25年10月末現在)

# 平成25年交通安全功労者表彰式

～1833人と261団体が受彰～

平成25年交通安全功労者表彰式が11月7日(木)、横浜市西区の県立音楽堂で行われました。受彰者は、1833人と261団体でした。紙面の都合で県警察本部長と県交通安全協会会長の連名表彰受彰者の方々を紹介しつづけます。(敬称略)

受彰者(団体)の皆様おめでとうございます。

神奈川警察本部長  
神奈川交通安全協会会長 連名表彰

## 交通安全功労者(100人)

- 川崎 小原弘
- 金沢 高島眞澄、服部次男、峯尾舜
- 伊勢佐木 中垣忠一郎、神田信男、中山善雄、新井宏次、村田由夫
- 鶴見 松尾文明、新田洋
- 保土ヶ谷 土金英雄
- 緑 鷺北正臣、磯貝保
- 青葉 平瀬徹、澁谷岳彦、鈴木茂、小吹輝夫、鴨志田泉、三部進
- 都 筑 岩岡久雄、渡辺勢司、志村晴雄
- 戸塚 菅原敏夫、福寿



交通安全功労者受彰者代表・小原弘さん=川崎

- 重孝 近藤節夫、黒岩孝雄、伊藤孝
- 瀬谷 西山昭夫
- 川崎 呉屋育子
- 川崎臨港 森岡良太
- 中原 原俊雄
- 高津 柿間喜美
- 多摩 野村昇
- 麻生 緒方保
- 浦賀 榎本計一
- 葉山町 齊藤義和、加藤美代子
- 大船 石原正
- 藤沢市 木村美恵子、加藤道子、鈴木武
- 藤沢北 田中俊彦、梅田新吉、家富包敏、鹿島孝男、

- 湯澤忠男、伊豆内三紀子、佐々木久雄、田代美代子、渡辺彦人、半沢智彦
- 平塚市 成瀬安弘、岩澤晃、藤枝和夫、松木寿永、伊東政和、松崎清子
- 小田原 竹中勇人、山崎桂一、石井順一、海野隆久、木部利之、加藤輝利、中川忠、二宮敏行、工藤末吉、石黒和一、遠藤健二、窪島晃一
- 足柄 横山俊之、嘉山由之
- 秦野市 井上市三、上田武夫、相原進昭、長谷川正二、渡邊明美、吉川節子
- 伊勢原 細矢邦彦
- 厚木署管内 名田妙子、大貫和美、木藤昭造、天野廣行、杉山千秋、牧田秀雄、光武從子
- 大和綾瀬 高橋美知雄、岩崎清一
- 座間 石渡稠筥、川口和義、大矢秀夫、田中原治
- 相模原 阿部公作、松本忠、白井國男
- 相模原南 丸塚幾男、小林武雄、岩瀧憲一
- 相模原北 小山征一
- 津久井 鈴木博、清水英文
- 優良運転者(410人)
- 宮前 齊藤敏郎
- 磯子 佐藤利美、有泉光

## 平成25年 交通安全功労者受彰者

| 表彰者                  | 種別          | 受彰者数  |
|----------------------|-------------|-------|
| 神奈川県知事               | 交通安全功労者(個人) | 52    |
|                      | 交通安全功労者(団体) | 20    |
| 神奈川県公安委員会            | 交通安全功労者(個人) | 10    |
|                      | 交通安全功労者(団体) | 10    |
| 神奈川県警察本部長            | 交通安全協力者(個人) | 72    |
|                      | 交通安全協力者(団体) | 25    |
|                      | 優良運転者(事業用)  | 86    |
| 神奈川県警察本部長(連名)        | 優良運転者(自家用)  | 60    |
|                      | 交通安全功労者     | 101   |
| (公財)神奈川県交通安全協会会長     | 優良運転者       | 410   |
|                      | 交通安全功労者     | 132   |
| (公財)神奈川県交通安全協会会長     | 交通安全優良団体    | 29    |
|                      | 優良運転者(20年)  | 218   |
| 神奈川県警察本部長(連名)        | 優良運転者(15年)  | 447   |
|                      | 交通安全功労者     | 12    |
| 神奈川県警察本部長(連名)        | 優良安全運転管理者   | 32    |
|                      | 優良運転者       | 45    |
| (一社)神奈川県安全運転管理者連合会会長 | 安全運転管理優良事業所 | 63    |
|                      | 優良安全運転管理者会  | 3     |
| (一社)神奈川県安全運転管理者連合会会長 | 交通安全功労者     | 11    |
|                      | 優良安全運転管理者   | 74    |
| 計                    | 優良運転者       | 71    |
|                      | 安全運転管理優良事業所 | 111   |
| 計                    | 個人小計        | 1,833 |
|                      | 団体小計        | 261   |
| 合計                   |             | 2,094 |

- 久 沢 武田幸和、上田実枝子、上田一孝、菅原渉、佐々木澄子、堀江忠孝、本間まち子
- 南 笠越和助、花園鑽、大中原義男、内藤由利雄、並木慎一、川合英雄、齊藤紀代美、土屋二明、枝川楫二、山田靖弘
- 戸部 青木二郎
- 鶴見 井上照孝、上原紀道、川名富美子、上江洲安弘、鶴田一夫、松浦スミ子、明立金吾
- 保土ヶ谷 宮原将郎、生出博、北村盛一、嶋崎真也、鹿嶋清司
- 旭 川合俊明、清水英夫、
- 久 柿本誠之、福田昭一、平石敏夫、石原好雄
- 港南 渡辺敏夫、渡辺正廣
- 港北 川勝慎三
- 緑 伊藤勇作、北村哲靖、先崎真一、佐々木紀子、福田善三、田中修、持田豊茂、秋元孝、副島直人、川淵春男
- 青葉 古山友吉、鈴木周三、保坂祐宏、新屋裕、山田重雄
- 都 筑 根岸照雄、小菅敬仁
- 戸塚 佐々木孝幸、服部祐喜、関川菊江、福田穰、濱野勝明、島田俊二、太箸孝善
- 栄 椎谷義三、大島征、近

藤恵美子、富田和子、八神和子、石川敏夫、小巻三枝子  
 泉 縫島進、新井次郎、山本文子、安西鈴子、飯島英勝、深田逸郎、北山一雄、田中敏郎、山崎清、那須川之佳  
 瀬谷 泰樂紀代子  
 川崎 菅野義朝、大澤俊三  
 川崎臨港 杉山貞雄、宮島知恵子、望月勉、鈴木安雄、内海和夫、小山清、岩下真喜子、石渡和夫  
 幸 兎澤正隆、岩崎彰市郎、小泉政勇、生方今朝雄、神谷恵子、西川米一、鈴木守政、在川孝  
 中原 安藤洋、西澤征一、苔米地勝吉、角絹子、黒澤玉一、清水敬介、佐藤由利、菊地勝雄、今野秀樹、西山真由美、塚田紀子、羽田美奈子、本多雅博、佐藤忠夫、野口和恵、神藤真実、林繁久、上野忠洋、外山登、山田圭文、朝比奈邦子  
 高津 堀井伸哉、山崎邦夫、三浦圭吾、夢寺勝文、木本豊正、石崎美智子、清水佐斗史、塩畑和男、北川一夫、石川祐市、石川利枝子、坂本秀機、向井真人、高橋利夫、金田敬光、古谷峻太郎、本多竜夫、木俣恵、

長谷川哲夫、畑林健次、川辺敦司、橋本衛、関谷雅弘、日吉成儀、松本紳智、岩村徹、高橋裕樹、中野大猛、星金吾、堀越新一  
 宮前 石渡松男、金子伸二、草野和彦、山下弘一、久保田康英、平向恒春、三木治一、小林重政、関口治男、塩野入悦子、庄野従子  
 多摩 飯沼公夫、船場香織、山口繁夫、古谷政恵、大瓦茂、森岡康夫、大瓦クメ子、谷口理、龜山栄治、村上武征、唐崎富夫、久保田孝江、福田義久、石田勇、尾崎芳、河原紀雄、金井由紀、鈴木絃千、多本敏幸、丹野壽一、古田英治、福島平吉  
 麻生 小堀誠、安間忠、



優良運転者(20年)受彰者代表・齊藤敏郎さん＝宮前

山崎明夫、中島光雄、齋藤武士、松本光子、高橋三郎  
 横須賀 永塚隆雄、甲斐靖、富沢利一、金子和子、金子義博、吉村知宏、小石川勇三、奥山弘、小林信孝、堀内弘子、土山鈴男、宮澤孝雄、熱田宏子、郷原良二  
 浦賀 奈須川昉、森崎信子、青柳恵子、勝俊二郎、竜寄清次、遠藤美代子、板垣信彦、東海林義勝、小島憲子、石井重三、北村昶子、近藤清子、高橋重市、千葉亮三、関原豊、島田正和、森田康裕、片野良知、飯島進、川上國雄  
 三浦市 山田光雄  
 葉山町 大内照子、大津賀初子、鈴木勝、行谷清、嘉山真一、宮島正行  
 逗子市 矢部彦幸  
 藤沢市 中田敬吾、吉田恭子  
 藤沢北 伊藤初実、中丸美代司、小島毅士、中里康男、徳永陽哉  
 茅ヶ崎地区 岡田悦子、會見優己子、秋山大三郎、小野美香、菅原英子、岡崎清継、加藤正一  
 平塚市 土屋哲仁、土濃塚昇、小澤成光、玉木四郎、神代健一、山田泰夫、清田秀昭、比嘉盛吉、小野明、夏田光夫、小茅生和夫、相

川和俊  
 大磯地区 有馬勇、杉山孝雄、佐藤誠二  
 小田原 廣川宏美、海老原秀之、石川明、内藤邦夫、仲内邦夫、原清次、木村一榮、若林次夫、齊藤ヒロ子、湯川哲義、及川壽、石井忠雄、平田喜久男、岩本和泉、寺山孝、相原清、出野正一、長谷山仁、川口幸一  
 足柄 杉田義三、宮嶋大作、山口金次、堀内喜代治、山口登  
 秦野市 長田毅、前村美代子、今井義朗  
 伊勢原 三好圭子、宮代春行、大原壽子  
 厚木署管内 鈴木真奈美、大谷行義、吉本学、世界喜己、漆谷松子、金子和永、田代弘重、高松タミ子、内木場義彦、加藤久、河野幸寿、遠藤正勝、大木幸子、石井憲、若山勝子、松田重男、山口末廣、菊地誠、今幸好、多田兼、霜島敏行、難波久雄、青木利久、大和綾瀬 平綿君子、佐藤豊、秋山政次、塚井柁男、熊仲戸川セシ、國分勝子、熊澤百子、松田富夫、新原啓、中山基、今寿夫、森山清治、棚橋道廣、木村富二、岩崎栄三、田島義治、石川正作、広部市郎

座間 林宏幸、米山康照、早川力男、藤崎真紀子、平野末男、中村明、琴寄良蔵  
 海老名市 入江重男、木下良男、中津志敏、青木勝利、田岡サ夕子、佐藤きぬ子、新戸由和、古木英夫、大島正江、大矢均、西海祥浩、松崎鼎、原貞子、溝上武志、塩月和子、諸井敏雄、奥寺恵子、雨宮芳春、山岸淳一、本多洋、中島八千代、假屋加代子、長田みね子、可児美和子、赤井美代子、関幸子、和田由利、岩崎好子、山本孝行、入船澄子、米山明正、鈴木一美、高野末春、山口光雄、倉橋聖  
 相模原 黒木一文、山口典子、北原信太郎、小川克子、阿部力、富田イサヲ、黒田浩貴、風間吉泰、熊谷八四四、八木清敬、高橋一雄、市川登美子、湯田嘉美、臼井孝治、小形三雄、高橋征彦  
 相模原北 佐藤莊平、井上裕幸、関根和行、大藏徳一、奥住宏子、青木美智子、岡村恵子、窪田泰和、井出秀男、長谷川光雄、櫻井武次郎  
 津久井 西芳文、細川美知男、榎田靖、久保田益治、永留光男

年末の交通事故防止運動

●実施期間

平成25年12月11日(水)～12月20日(金)の10日間

●目的

年末特有の交通量や飲酒の機会の増加などにより、交通事故が多発することから、県民一人ひとりが交通安全について考え、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組みことを通じて、交通事故防止の徹底を図ります。

●スローガン

無事故で年末

笑顔で新年

●重点

- 1 飲酒運転の根絶
  - 2 歩行者(特に高齢者)と自転車の交通事故防止
  - 3 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 交通安全協会の推進事項

- ・ハンドルキーパー運動の実践をドライバーや飲食店等に対して積



極的に働きかけるなど、飲酒運転の根絶を呼びかけます。

・キャンペーンやイベントなどの開催により、運動への参加・協力を呼びかけるほか、地域や職場等での自主的な活動や交通安全講習会への積極的な参加を働きかけます。

・交通指導員や各種団体構成員による街角アドバイス、「交通安全のひとこえ運動」を推進します。

飲酒運転根絶強化月間(12月)実施中

～乗る人に 飲ませるあなたも 犯罪者～

～2013飲酒運転を根絶しよう!! 県民大会～

飲酒運転根絶強化月間を12月に控えて11月22日(金)、海老名市文化会館で県交通安全対策協議会主催による「2013飲酒運転を根絶しよう!! 県民大会」が盛大に開催されました。大会には黒川県副知事、海老名市副市長、猪又県警交通部長、小平海老名警察署長等のほか、当協会からは西村専務理事が出席し、県交通安全対策協議会委員等約200人が参加しました。大会の冒頭で飲酒事故犠牲者に対する黙祷を行い、主催者等の挨拶に続いて、独立行政法人国立病院機構久里浜医療センターの松下幸生副院長による「飲酒運転の根絶を目指して～飲酒運転をするドライバーの特徴と対策～」と題する講演の後、県交通安全母の会連合会藤原副会長が飲酒運転交通事

故受刑者の手記「加害者」を朗読して飲酒運転事故の悲惨な結末を訴え、最後に県運転代行協会谷川事務局長により飲酒運転根絶宣言が行われました。

大会終了後は、会場近くの小田急線海老名駅東口ペDESTリアンデッキに移動して、県交通安全協会が提供した「飲酒運転根絶ティッシュボックス」やチラシ等を配布しながら「飲酒運転を根絶しよう!!」県民キャンペーンを行い、飲酒運転の根絶、飲酒事故防止を呼びかけました。



年末年始の業務案内

○ 試験コース開放等のご案内【県交通安全協会】

| 平成25年12月 |       |       |       |  |              |    |    | 平成26年1月 |      |       |      |      |   |       |      |       |    |    |
|----------|-------|-------|-------|--|--------------|----|----|---------|------|-------|------|------|---|-------|------|-------|----|----|
| 21       | 22    | 23    | 24～27 |  | 28           | 29 | 30 | 31      | 1    | 2     | 3    | 4    | 5 | 6～10  |      | 11    | 12 | 13 |
| 土        | 日     | 月     | 火～金   |  | 土            | 日  | 月  | 火       | 水    | 木     | 金    | 土    | 日 | 月～金   |      | 土     | 日  | 月  |
| 業務休止     | コース開放 | コース開放 | 受付業務  |  | 休日<br>(業務休止) |    |    |         | 受付業務 | コース開放 | 業務休止 | 受付業務 |   | コース開放 | 業務休止 | コース開放 |    |    |

○ 運転免許手続きのご案内【県警運転免許本部(試験場、警察署)】

～年内は12月27日(金)まで、新年は1月6日(月)から～

| 平成25年12月 |     |            |    |    | 平成26年1月 |   |                      |         |   |
|----------|-----|------------|----|----|---------|---|----------------------|---------|---|
| 27       | 28  | 29         | 30 | 31 | 1       | 2 | 3                    | 5       | 6 |
| 金        | 土   | 日          | 月  | 火  | 水       | 木 | 金                    | 日       | 月 |
| 通常業務最終日  | 試験場 | 休日<br>業務休止 |    |    |         |   | 更新<br>国外免許申請(午後)のみ受付 | 通常業務開始日 |   |
|          | 警察署 | 休日<br>業務休止 |    |    |         |   |                      |         |   |

注 ① 平成25年12月28日(土)から平成26年1月5日(日)までの間に運転免許証の有効期間(誕生日の1ヵ月後)が満了する方は、平成26年1月6日(月)まで有効です。

② 年末年始は大変混雑します。手続きはお早めに! ご来場の際は、電車やバスなどの交通機関をご利用ください。

《問い合わせ》 神奈川県警察ホームページ <http://www.police.pref.kanagawa.jp/>  
運転免許試験場 ☎045(365)3111

## 交通事故の悲劇に学ぶ⑪

### ●「飲酒運転の末」

意識が戻ったのは、事故の翌日でした。頭から顔半分を包帯で巻かれ、身体のアちこちが痛む。妻や家族、飛んで来た友人たちが、心配そうに顔をのぞき込んでいた。自分では、どこに、なぜ、こんなかっこうで寝ているのか、かいつも見当がつかなかったのですが、後で聞くとまさに九死に一生を得たということだったようです。幸いにしてケガのほうは、外傷と打撲が中心で脳や内臓に異常はなく、比較的回復も早く10日ほどで退院することができました。

しかし、事故の状況は大変なものだったようです。赤信号で停車中の車3台に玉突き状態で追突し、9名にもものぼる人たちにケガをさせたというものでした。私にとって幸いなことは、ケガ人は多く出ましたが、比較的軽傷の人ばかりであったことでした。一歩間違ったら大惨事になっていたと思われるだけに、不幸中の幸いでした。

もちろん、私の車は大破し車の中は血の海だったとのことですが、よく10日間くらい入院で済んだものだあとで聞かされ、我ながら驚きあきれられるばかりでした。それにしても、この事故によって迷惑をかけた人たちのなんと多いことか。被害者およびその家族のかたがたはもちろんのこと、病院との往き来、被害者の見舞い、警察の事情聴取などに走り回った妻や家族の者たち、友人、知人、更には仕事関係の人たち、事故処理をしてくださった警察のかた、救急隊、病院の人たちなど、ざっと数えあげただけでも100名をこえる。一つの事故が、これだけ多くの人たちの心身に影響を与え、労力ばかりか、大切な国の税金までも使ってしまうことになるわけです。

特に、妻に与えた精神的、肉体的、経済的な苦痛(今現在も与え続けているのだが)は、今後どのように償っても償いきれるものではない。

事故当時、私は仲間と印刷関係の企画デザインの会社を作り2年目。ちょうど軌道にのり、毎日が忙しく、順調に仕事におわれていました。その日も遠方より顧客の一人が原稿を持って



来社、午後いっぱい打ち合わせに費やし、夕方7時ごろに一段落したため夕食にさそいました。当然のようにビールで乾杯をし、9時ごろまで食事をしながらではありましたがグラスを重ね良い気持ちになって会社に戻ったわけです。

ふだんですと、もうひと仕事して夜中に帰宅するのですが、その日は疲れていたせいか駐車場の車の中で仮眠をとり、目がさめると同時にいつもの習慣からか、エンジンを始動させ帰路についたのです。しかし、ここで大きな間違いを犯してしまったのです。自分ではじゅうぶん睡眠時間をとり、夕食の時飲んだ酒もさめていてと錯覚をしていたのです。後で考えると自分ではかなり時間がたっていたと思っていたのですが、せいぜい1時間足らずのようでした。車を乗り出してほんの500メートルくらいの地点で早くも居眠り運転をしてしまったのです。それから先は、全く記憶がないのです。事故のショックも、病院での手当も何一つ覚えていないのです。

今では懲役7か月という判決を受け、市原刑務所にお世話になり、日々反省と更生のための生活を送っている身です。

少くなら……、この位なら大丈夫……という自己に対する甘い判断が、とてつもなく大きい事故につながってしまうことがはっきりとわかりました。与えられた刑罰は、これからの自分の人生にとって一生背負って行かなければならない傷跡となるでしょう。しかし、この傷跡を常に見つめ、忘れることがあってはならないのです。二度と同じ過ちを犯さないためにも、絶対に忘れることは許されないことです。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行「贖いの日々(第21集)」から～

#### インフォメーション

- **第54回交通安全国民運動中央大会**
  - ・ 1月16日(木) グランドヒル市ヶ谷
  - ・ 1月17日(金) 日比谷公会堂
- **公益財団法人神奈川交通安全協会賀詞交歓会**
  - ・ 1月30日(木) ロイヤルホール・ヨコハマ

#### 賛助会員のご紹介

このコーナーでは、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- **公益社団法人商連かながわ** 横浜市中区尾上町
- **ヤマト運輸(株)** 横浜市港北区新横浜
- **サンエス技研(株)** 横浜市都筑区北山田

その298 大和綾瀬交通安全協会

大和綾瀬交通安全協会(古郡保正会長)では、大和駅前における大和産業フェア会場の交通安全コーナーにおいて、来場者に飲酒クイズを出し、子供には飴、大人には反射材などを配布しながら飲酒運転の根絶を呼びかけました。



ハンドルキーパー  
運動の紹介

その297 都筑交通安全協会

都筑交通安全協会(皆川豊蔵会長)では、地下鉄センター南駅前で開催された都筑区民まつり会場において、幟旗を掲出し、チラシを配布しながら飲酒運転根絶、ハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。



二輪車安全運転・自転車安全教育推進委員会の開催

11月15日(金)、県協会会館において、二輪車安全運転推進委員会(14:00～)及び自転車安全教育推進委員会(15:00～)が開催されました。

両委員会とも西村委員長の挨拶に続き、県警本部交通総務課担当者から交通事故の特徴等交通事故情勢、特に二輪車及び自転車の関係する事故の実態について説明があり、次いで委員会事務局から平成25年中の所管業務の取り組み状況等が報告された後、出席した県(くらし安全交通課)、横浜市、川崎市、相模原市等の委員により「来年度の自転車大会及び二輪車大会」「自転車の安全利用」、「二輪車の交通事故防止対策」などについて、活発な意見交換が行われました。



二輪車安全運転推進委員会

自転車安全教育指導者講習会の開催  
～ 自転車安全教育の指導要領を学ぶ～

神奈川県自転車安全教育推進委員会(西村昇委員長)は、県警交通部の協力を得て11月8日(金)、藤沢市の辻堂海浜(交通)公園で自転車安全教育指導者講習会を開催しました。

この講習会は、自転車利用者の交通ルール無視やマナー低下が叫ばれ、自転車による人身事故の厳罰化傾向、同事故に伴う高額賠償判決が相次ぐ中、自転車の安全利用を図り、自転車事故を防止するため、自転車交通安全教室(チリリン・スクール)などで指導する人材を養成するもので、当日は、交通指導員、地区交通安全協会職員、市役所職員等43名(うち女性8名)が参加しました。

午前中は、県警交通総務課交通安全教育隊隊員が自転車事故の事例・実態、自転車利用者のルール違反、チリリン・スクール実施要領等に関する講義の後、交差点の右折・左折の方法など基本走行に係る実技指導を行いました。

午後からは、交通安全教育隊隊員による「傘さし運転」、「携帯電話を使用しながらの運転」等片手運転による「危険運転」を体験するなど応用走行についての実技指導が行われました。

講習の最後に、自転車の二段階右折要領等に関する質疑応答が行われた後、当協会只野安全活動推進部長から受講者一人ひとりに修了証が交付されました。



指導する県警交通安全教育隊員



藤沢市交通安全協会  
会長  
山口 幸雄さん  
やまぐち ゆきお



藤沢市交通安全協会は、戦後間もない昭和22年10月に誕生しています。

その後、警察署とともに移転を繰り返し、昭和58年9月から現在の藤沢警察署の前に事務所を構えています。

事務所の所在する藤沢市は、南に相模湾、北に相模台地をいただき、その温暖な気候が日常生活の中に四季折々の顔を見せてくれます。春は丘陵地帯を中心に草花が咲き乱れ、夏は田園地帯に水稲が広がるとともに、海岸には海水浴客があふれ、秋にはその田園地帯に稲穂が頭を垂れて一面黄金色となり、また冬には澄みきった空のもとと霊峰富士山を仰ぎ見ることが出来ます。

このような豊かな自然環境の中で生まれ育った山口幸雄会長は、日頃から活動的に行動力に富み、地元住民とのコミュニケーションも良好で、街を歩くと市民の人から「あーら

山口さん」と声がかかる気さくな一面があり、藤沢市長をはじめ交通関係機関・団体の方々の交流も深く、高齢者や子供達など交通弱者の安全を見守る奉仕の心を大切にして、交通事故防止に取り組む強い信念を持っています。

会長の父親は当安全協会の2代目会長として27年間の長期にわたり、協会の発展と組織作りに貢献されました。会長は、父親が作り上げてきた安全協会の実績をもとにさらに発展させ、市民を交通事故から守る活動に尽力しようと、本年5月に会長に就任されました。

夏には江の島の片瀬海岸にある「洗心亭」と称する海の家を経営していますが、海と太陽の恵みをいっぱい浴びて育った会長は、海のように広い心と穏やかな性格で人を引き付ける魅力を持ち、人が自然に集まる気さくな雰囲気も備えています。

会長は、最近の報道にある

ような危険運転、あるいは危険運転致死傷罪が適用されないまでも悪質な、特に無謀運転により幼い子供の命を奪う、悲惨な交通事故に心を痛めており、このような交通事故がこの藤沢の地においても発生する危険があるのではないかと危惧しています。たつた一つしかない大切な命を思う心と、悲惨な交通事故から眼をそむけることなく、一人ひとりが交通安全に対する意識を高め、「安全はすべてに優先する」という思いを、藤沢市交通安全協会から発信していきたいと語ります。

そんな思いを寄せる会長ですが、事務局としても、これからも健康に留意され交通安全活動に邁進されることを願いつつ、エールと感謝の気持ちを送りたいと思います。

(取材協力…藤沢市交通安全協会)

こんにちは  
「足柄交通安全協会」です

足柄交通安全協会は昭和23年4月に創立し、今年で65年を迎え、松田警察署管内の1市5町「南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町」を活動エリアとしています。

主な活動としては、春、夏、秋、年末などの各季の交通安全運動の街頭キャンペーンと夏に開催します「自転車の安全な乗り方足柄上地区大会」です。いずれの活動も、松田警察署をはじめ各交通関係団体や県のくらし安全指導員、各市町の交通安全対策協議会、それに交通指導隊の方々などのご支援・ご協力のもと、「あしがら路」(地元道路の総称)の交通安全に成果をあげているところです。

特に各市町の交通指導隊は、聞くところによるとこの地域独特の組織だそうです。各市町の行政から委嘱を受け、

幼児からお年寄りまでを対象とした幅広い交通安全教室や啓発活動などを行っており、必要に応じて地元のお祭りやイベントなどの交通整理にも出動しています。

今年の「自転車の安全な乗り方足柄上地区大会」には各地区から小学生が19チーム、母親チームも4チーム出場しました。この選手たちの指導も各市町の交通指導隊員が中心となって関わっています。夏の炎天下での実技指導や学科指導など1~2週間ほぼ毎日のように指導をいただきました。

この各市町の交通指導隊員の大半の方が安全協会の理事でありますので、大会に向けての抽選会や事前のコース作り、準備品の用意など積極的なご協力をいただくほか、当日の大会運営も松田警察署員や交通指導員ともども汗一杯になりながら丸一日リードしていただき、大会を無事に行うことができました。

1市5町という多くの自治体を抱える



協会としては、一つの行事を行う場合の連絡・調整などの部分で大変ではありますが、この足柄上地区は、従来より交通安全に対する住民の理解や協力などの意識が高い地域であり、各市町では登下校時の交通安全や見守り活動を地域のボランティアの方々も積極的に行っている地域でもありますので、私ども交通安全協会も今以上に松田警察署や関係団体と連携を強化し、交通安全活動を展開して参りたいと思います。

(府川 記)

地区交通安全協会の活動紹介



**山手**  
山元小学校において、掲示板を活用した内輪差による事故の説明、ダミー人形による衝突実験、設定コースの実走指導などにより自転車教室を開催し、自転車事故防止を呼びかけました。

**加賀町**  
横浜公園における中区民まつり「ハローよまほま2013」会場に交通安全ブースを設け、自転車シミュレータの体験、交通安全ビンゴゲームなどを実施し、交通安全を呼びかけました。



**伊勢佐木**  
伊勢佐木モール街で安協、警察等32名で幟旗を掲げ、チラシや反射材を配布しながら自転車事故の防止、放置自転車の追放をトラメガを活用するなどして呼びかけました。

**南**  
よこはまばし商店街及び大鷲神社の西の市において、チラシや啓発物を配布しながら飲酒運転根絶を呼びかけました。



**平塚市**  
平塚学園高校正門において、生徒22名が「自転車事故減らし隊」のたすきを掛け自転車通学する同校生徒に、自転車乗用中の「イヤホンや携帯禁止」など自転車事故防止を呼びかけました。

**鶴見**  
自転車事故が多発している潮田地区の西部自治会の児童、大人を対象に湖田小学校において自転車教室を開催し、自転車利用時のルール遵守、マナーアップを呼びかけました。



**津久井**  
中野小学校で、自転車シミュレーター等を活用したり、校庭において自転車の乗り方を指導するなど、小学生の交通安全教室を開催し、自転車の事故防止を呼びかけました。

**相模原北**  
相模原総合高校生6000人、交通関係団体関係者等1500人を前に、同高校校庭においてスタントマンによるスケアードストリートを実施し、自転車の傘差し運転の危険性などを訴えました。



あなたの会費が交通安全活動に役立っています

編集後記

終わった話で恐縮ですが、今年は「伊勢神宮」で20年に一度の式年遷宮の年であり、本年10月、これまで8年間にわたって数多く行われた祭事のクライマックスである内宮、外宮の「遷御の儀」が無事終了したことが大きく報道されました。

これにかかった費用は、前回よりも270億円多い、570億円といわれており、私の地元の神社でも、相応の奉納金を拠出したようではありますが、こうして全国から薄く、広く浄財を募って、日本古来の伝統行事が継続していくのは素晴らしいことであると思います。

ただ、神社の組織も、多くは、地域の自治会などから依頼(指名)されたボランティアの人たちの活動により維持されているようで、かきう私も、本年度の地区神社の世話役に指名されて、休日返上で微力を尽くしておりますが、地元のために役立っているとの実感もあり、それなりに愉しくやらせてもらっております。

なかでも、お祭りでの神輿や山車の巡行が、地元の交通安全協会をはじめとする関係団体の協力を得ながらトランプもなく神社に戻ってきたときは、これでメインの行事が無事終わったと安堵したことを覚えております。

県内の交通事故も、件数、死者数、負傷者数とも前年比マイナスで推移しており、当協会も交通安全に携わる団体の一員として何よりのことと思えます。悲惨な交通事故が、毎年、少しずつでも改善されるよう願っております。

(國分 記)